

海老名環境マネジメントシステム

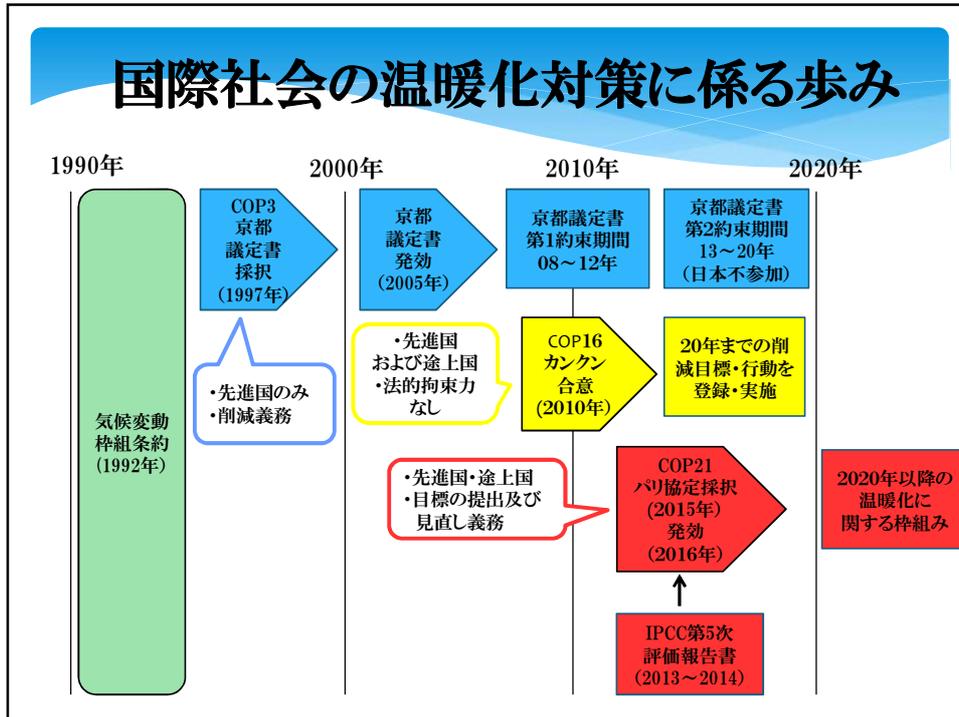
説明者：環境みどり課 品川



ご説明内容

- 1 地球温暖化の現状と将来予測
- 2 海老名環境マネジメントシステムについて
 - (1)地球温暖化対策実行計画の推進
 - (2)環境基本計画の推進
 - (3)環境法令等の順守

国際社会の温暖化対策に係る歩み



地球温暖化の将来予測 (21世紀末時点)

現状を上回る対策をしなかった場合

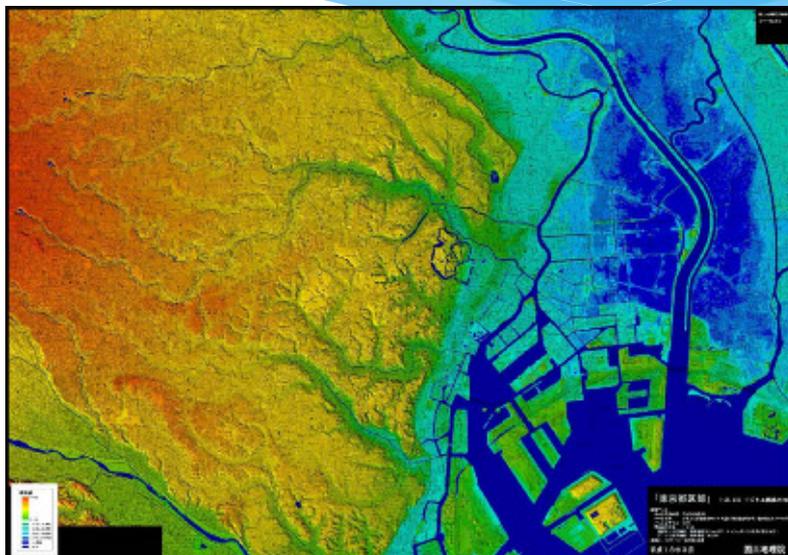
- ・気温上昇 最大5.4℃ (産業革命前比)
- ・海水面の上昇 最大82cm
- ・異常気象の増加
- ・食糧危機

現状を上回る対策をした場合

- ・気温上昇 2℃未満 (産業革命前比)
- ・海水面の上昇 26~55cm

参考 IPCC (第5次評価報告書)

東京湾沿岸部の標高地形図



出典 国土地理院HP

国際社会の目標

気温上昇 2°C未満に抑える
(21世紀末時点産業革命前比)



↓
CO₂総排出量を3兆トンまでに抑える必要がある。
すでに2兆トン排出済。(現在370億t/年 排出中)

↓
このままではあと30年足らずでCO₂総排出量が3兆tを超えてしまう。

↓
パリ協定締結

国際社会の目標②

◇パリ協定（第21回 国連気候変動枠組条約締約国会議(COP21)）

COPに加盟する全196カ国が参加する初の法的拘束力のある枠組み。

<概要>

- ①今世紀末時点で平均気温上昇2℃未満（1.5℃以下への努力）
- ②今世紀後半までに温室効果ガス実質ゼロへ（排出量+吸収量=0）
- ③削減目標の提出・対策の義務（5年ごとに見直し） など



日本政府の取組み

◇地球温暖化対策計画（2016年）

根拠法令：地球温暖化対策の推進に関する法律第8条

<概要>

中間目標：2030年度までに温室効果ガスを26%削減。（2013年度比）

長期目標：2050年度までに温室効果ガスを80%削減。（2013年度比）



海老名市の取組み

◇海老名市地球温暖化対策実行計画（2017年(平成29年度)）

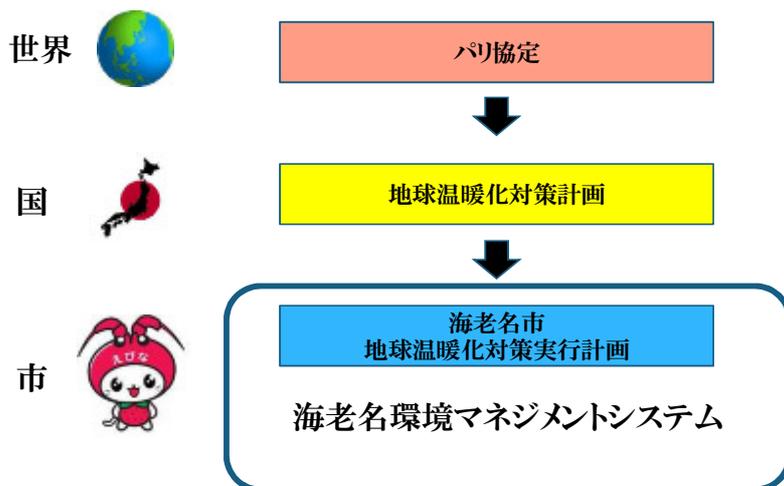
根拠法令：地球温暖化対策の推進に関する法律第21条

<概要>

目標：2030年度までに温室効果ガスを26%削減。(2013年度比)



地球温暖化に関する取組みの関係図



海老名環境マネジメントシステムについて

◇名称：海老名環境マネジメントシステム
Ebina Environmental Management System (EMS)

◇運用開始：平成29年4月1日(土)

効率的で効果的な環境配慮 = 環境配慮の日常化

環境基本計画の推進

地球温暖化対策実行計画
の推進

環境法令等の順守

地球温暖化対策実行計画の推進

報告対象は・・・

- ◆ 省エネルギー化の推進
- ◆ ごみゼロ運動の推進
- ◆ 環境配慮活動実施状況の確認

対象となる施設については、マニュアル17ページ表5参照

省エネルギー化の推進①

◆ 省エネルギー化の推進

電力、ガソリン等のエネルギー使用量の調査を実施。
使用したエネルギー量から温室効果ガスの排出量(削減量)を求める。

対象 エネルギーを使用する全ての公共施設及び公用車

頻度 半年に1度(4月 10月)

省エネルギー化の推進②

◆ 省エネルギー化の推進

・前年度実績値と目標値と比較して省エネルギー化の推進度合を確認する。

様式2号

〇〇年度

エネルギー使用量集計表

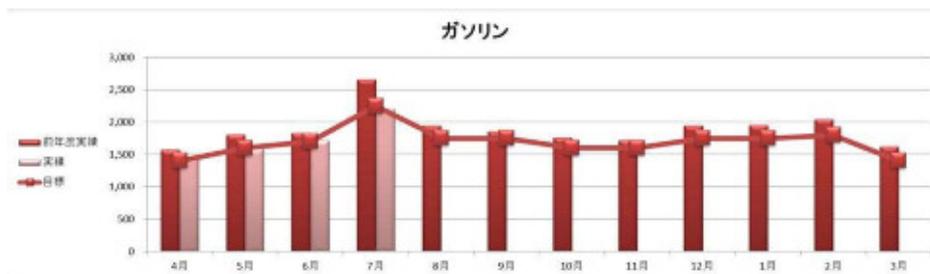
市長
署名

対象	単位	毎時	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	トータル	前年	
ガソリン	ℓ	前年度実績	1,375	1,895	1,951	2,682	1,945	1,855	1,796	1,721	1,942	1,893	2,945	1,525	22,719	23,764	
		目標	1,489	1,999	1,700	2,284	1,789	1,759	1,800	1,690	1,765	1,799	1,909	1,909	20,589	20,290	
		差額	1,114	1,104	1,716	2,550	1,156	1,136	1,004	1,100	1,147	1,096	1,034	1,014	2,130	3,474	
		CO2排出量	2,364	3,293	3,901	5,111										16,159	16,150
灯油	ℓ	前年度実績													0	0	
		目標													0	0	
		差額														0	0
		CO2排出量														0	0
軽油	ℓ	前年度実績													0	0	
		目標													0	0	
		差額														0	0
		CO2排出量														0	0
電気消費量 LPC	kWh	前年度実績													0	0	
		目標													0	0	
		差額														0	0
		CO2排出量														0	0

省エネルギー化の推進③

◆ 省エネルギー化の推進

- ・エネルギー使用量の見える化



省エネルギー化の推進④

- ・こまめな照明のスイッチOFF
 - ・パソコンのスリープモードの活用
 - ・階段の積極的な利用
 - ・公用車のエコドライブの実施
 - ・公用車の空調の控え目利用
- など

ご協力お願いします！



ごみゼロ運動の推進①

◆ ごみゼロ運動の推進

資源の利用を最小限に留め、ごみの排出量を削減し、リサイクル率を高めることで温室効果ガスの吸収作用の保全に努める。

対象 マニュアルP17<表5>適用施設一覧表を参照

頻度 半年に1度(4月 10月)

項目 ①リサイクル率 ②一般廃棄物排出量(事業系)
③産業廃棄物排出量 ④PCB廃棄物排出量

ごみゼロ運動の推進②

項目	実施日	結果	評 価
〇〇(施設名)のリサイクル率	/	0.0 %	資源化率(6か月平均)
	/	0.0 %	
	/	0.0 %	
	/	0.0 %	
	/	0.0 %	
	/	0.0 %	
事業系一般廃棄物排出量	/	0.0 kg	前年同6か月比: 0.0%
	/	0.0 kg	
	/	0.0 kg	6か月計: 0.0 kg
	/	0.0 kg	前年同6か月計: 0.0 kg
	/	0.0 kg	
	/	0.0 kg	
産業廃棄物排出量	/	0.0 kg	前年同6か月比: 0.0%
	/	0.0 kg	
	/	0.0 kg	6か月計: 0.0 kg
	/	0.0 kg	前年同6か月計: 0.0 kg
	/	0.0 kg	
	/	0.0 kg	
PCB廃棄物排出量	/	0.0 kg	前年同6か月比: 0.0%
	/	0.0 kg	
	/	0.0 kg	6か月計: 0.0 kg
	/	0.0 kg	前年同6か月計: 0.0 kg
	/	0.0 kg	
	/	0.0 kg	

ごみゼロ運動の推進③

- ペーパーレス化の推進
 - 両面印刷への協力
 - 裏紙の活用(個人情報に注意)
 - ごみ、資源の分別の徹底
など
- ご協力お願いします!



環境配慮活動実施状況の確認①

◆ 環境配慮活動実施状況の確認

環境配慮活動の実施状況を確認することで職員の環境配慮意識の向上を図る。

対象 全ての課等(施設は対象外)

頻度 半期に1度

環境配慮活動実施状況の確認②

1 省エネルギー活動等の推進

- ① 照明の使用
 - 昼休みや時間外勤務時等の不要な照明の消灯の実施
 - 使用していない会議室、湯沸し室、トイレ等の消灯の実施
 - 各種場の最終退出者による消灯確認の実施
- ② 冷暖房・空調機器の使用
 - 冷暖房の温度は、冷房28℃、暖房19℃を適正温度として設定（温度を設定できる課等のみ）
 - ブラインドの活用等による室温の適正管理
 - 夏期の軽装、冬季の重ね着等、服装の工夫
- ③ 電気機器等の使用
 - 離席時、パソコンの休止モードの活用若しくは電源オフの実施
 - 長時間使用しない電気製品の主電源オフの実施
 - 各種場の最終退出者による印刷機等の電源オフの確認の実施
 - エレベーターの使用を控え、階段の積極的な利用の実施

2 交通等対策

- ① 公用車の使用の削減

環境配慮活動実施状況の確認③

5 各課等における独自の取組みについて

①省エネを推進するにあたって貴課で心がけていることは何ですか。

②省エネを推進する上での反省点・次回に向けた改善点は何か。

③ごみゼロを推進するにあたって貴課で心がけていることは何ですか。

地球温暖化対策の推進 その他

◆ グリーン購入の推進

製品やサービスを購入する前に必要性を熟考し、環境負荷ができるだけ小さいものを優先して購入すること。

エコマークがグリーン購入対象商品の目印です。



◆ 公共工事・契約事業における環境配慮の推進

公共工事・契約事業環境配慮マニュアルに基づき、業者に対しても環境配慮の徹底を依頼してください。

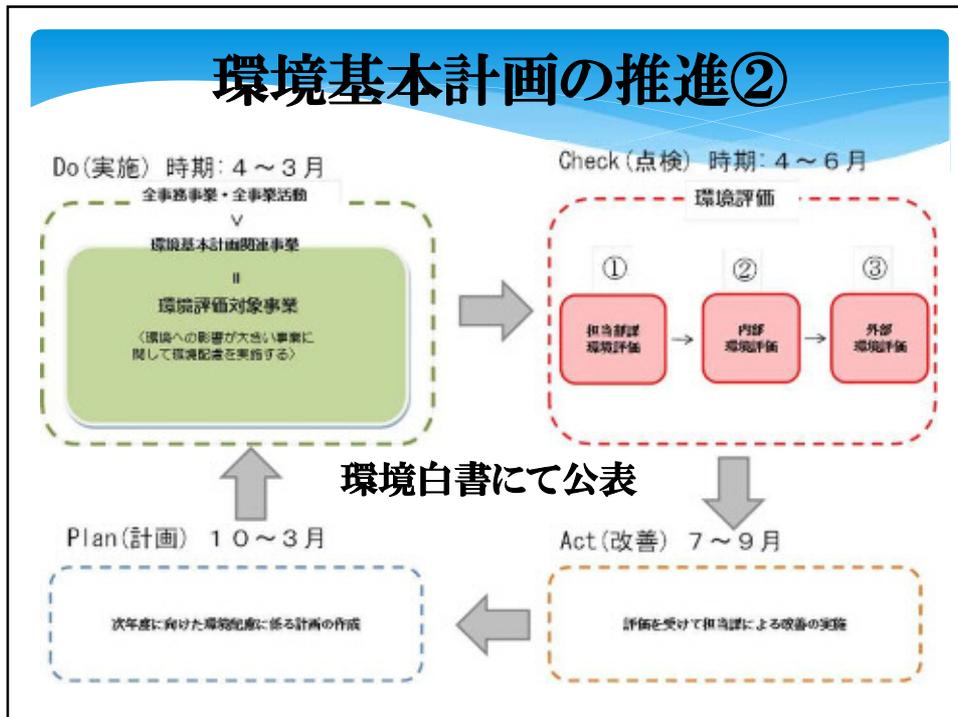
環境基本計画の推進①

◆ 第二次環境基本計画とは

第四次総合計画の基本目標の一つ「快適な生活のフィールド」の政策別計画。海老名市環境基本条例第8条により、策定が義務化されている、市の環境施策に関する基礎的な計画。

関係法令等：環境基本法、海老名市環境基本条例

環境基本計画の推進②

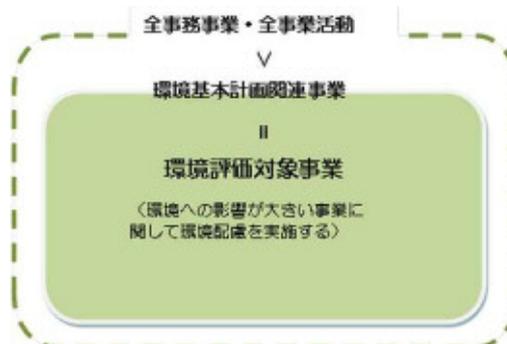


環境基本計画の推進③

◆ 環境評価調書の作成

対象 環境評価対象事業を所管する課等

公表 環境白書にて実施



環境基本計画の推進④

環境管理計画・環境評価調査 1					
事務事業名	大気汚染・騒音対策、排水対策		事業コード		
担当部	経済環境部	担当課	環境みどり課	担当係	環境保全係
計画体系	II 地域環境 I 身近な生活環境を守ろう 2 騒音・振動防止対策				
目的目標	環境基本法で定められた、大気汚染や騒音に係る環境基準等の維持・確保に努めます。 市内公共用水域等の水質について、環境基本法で定められた環境基準の維持・確保に努めることで、人と自然が調和した生活環境づくりを図ります。				
目標指標		目標値	実績値		
窒素酸化物簡易測定		21か所	21か所		
ダイオキシン類分析調査		6か所	6か所		
水質関係調査(河川、地下水、工場排水)		19か所	19か所		
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
有益影響	生活環境の維持・確保	生活環境の維持・確保	生活環境の維持・確保	生活環境の維持・確保	生活環境の維持・確保
有害影響	・廃棄物の増加 ・自動車使用による排気ガスの増加	・廃棄物の増加 ・自動車使用による排気ガスの増加	・廃棄物の増加 ・自動車使用による排気ガスの増加	・廃棄物の増加 ・自動車使用による排気ガスの増加	・廃棄物の増加 ・自動車使用による排気ガスの増加

環境基本計画の推進⑤

	平成29年度	平成30年度
具体的活動(実績)	平成28年度は〇〇等の公害苦情対応しました。 窒素酸化物簡易測定調査、ダイオキシン類分析調査、水質関係調査については目標値を達成するとともに、全ての項目において環境基準を満たしていました。 また、現場にて使用する記録用紙には無硫黄使い、市役所から10km以内の現場には徒歩で向かうなど資源の利用を最小限にしました。	
	平成29年度の変更点及び実施における課題・問題点 平成29年度は水質事故が多く発生したため、オイルマット等の産業廃棄物の量が増加しました。オイルマットの使用量増加は防ぎようがないが、今後も継続してグリーン購入法に適合したものを使用することで環境影響を最小限に留めます。	
	評価区分	評価
	担当課 環境評価	4
	判断理由及び内容 今後も、市民が快適な生活を送ることができるように、調査分析や評価・相談への対応を継続し、またその対応に伴う自動車排気ガスの増加、資源の使用、廃棄物の増加を最小限に留めます。	

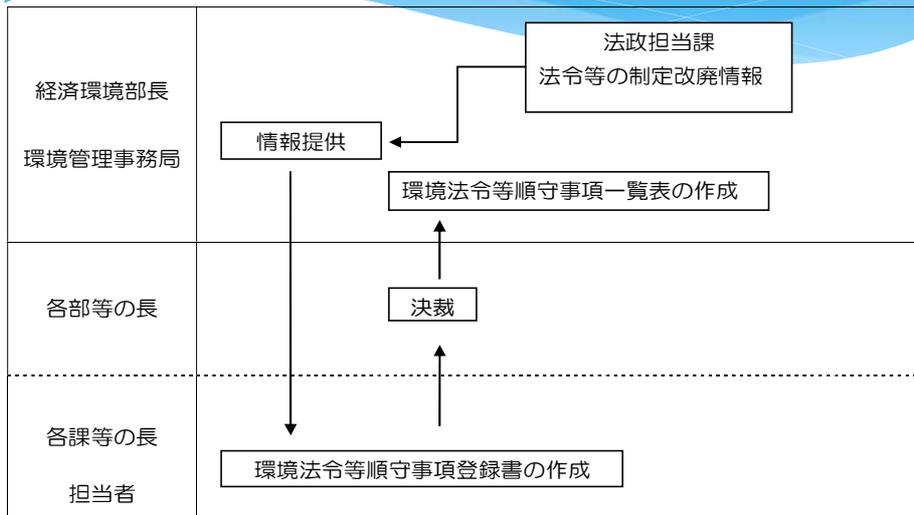
環境法令等の順守①

◆ 環境法令等の順守

概要 事務事業及び事業活動を推進する上で関連のある環境法令等を特定し、順守事項を一覧化することで、環境法令の順守を徹底する。

対象 全ての課等及び全ての公共施設

環境法令等の順守②



環境法令等の順守③

環境法令等順守事項登録書					
	<table border="1"> <tr> <td>部等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>課等</td> <td></td> </tr> </table>	部等		課等	
部等					
課等					
規 則 法 令					
登 録 区 分	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> 廃止				
適 用 対 象 (事業名、施設名等)					
適用対象の規模 ・能力等					
主要な法規制等 要求事項 (条文も記入)					

環境法令等の順守④

◆ 環境法令等定期監査

監査員 ISO14001審査員資格を保有する非常勤職員

時 期 各部ごとに原則年1回実施。

概 要 記録書類等を直接確認する。現場監査・インタビュー実施の可能性あり。

◆ 内部環境監査

監査員 内部環境監査委員

時 期 5月中旬～6月中旬に実施。

概 要 監査対象は環境法令の順守状況のみに限定。

環境法令等の順守⑤

◆ 不適合事項是正処置の提出

概要 環境法令等を遵守していないこと及び必要な是正処置がとられていないことを不適合事項と定義し、所管課は是正処置記録書を提出する。

対象 不適合事項が生じた課等

時期 不適合事項が発覚した時

◆ 環境審議会への不適合事項是正処置結果の概要説明

概要 発生の原因、改善策等について環境審議会へ説明することで、責任の自覚を促し、再発を防止する。

対象 不適合事項が生じた課等

時期 外部環境監査時を予定

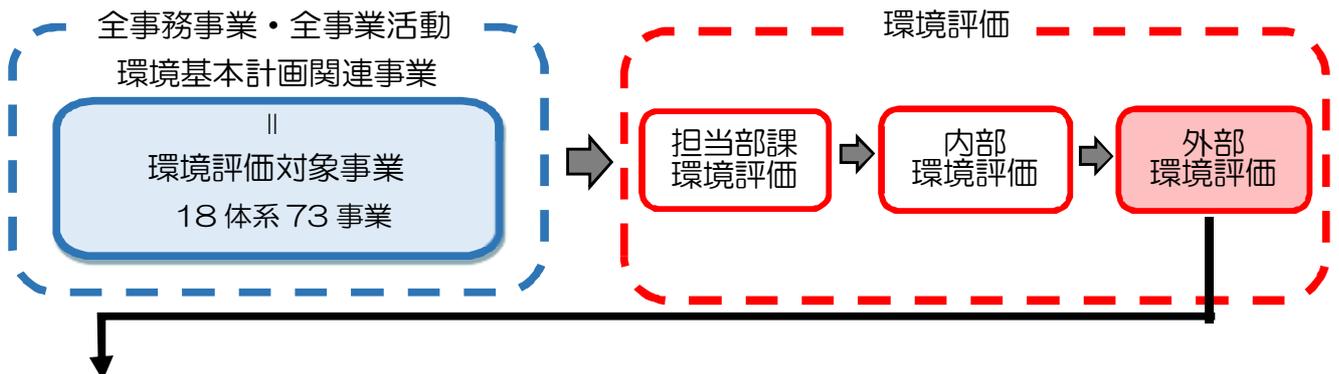
ご清聴ありがとうございました。



外部環境評価の実施方法について（案）

1 環境基本計画の推進 別紙1及び別紙2参照

全ての事務事業・事業活動のうち、特に環境への影響が大きく、環境基本計画に関連する事業を環境評価対象事業と定めています。各事業の所管課では環境評価対象事業について調書を作成し、その調書に基づいて環境配慮の進行管理を実施しています。



2 外部環境評価実施の流れ（案）

(1) 市から説明

- ・環境みどり課職員は環境基本計画の体系ごと（全18体系）に代表的な事業の取組結果及び計画の推進状況を述べます。

(2) 質疑応答

- ・市からの説明について、質疑応答の時間を設けます。

(3) 評価の実施 別紙3参照

- ・評価は外部環境評価シートにより実施してください。
- ・各外部環境評価委員は体系ごとに評価を実施してください。
- ・判断理由、評価内容についても記入をお願いします。

環境評価実施に係る評価基準

- 4：計画を上回る環境配慮を実施できた。
- 3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。
- 2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。
- 1：ほとんど計画通りの環境配慮を実施できなかった。

※全18体系の説明が終わるまで（1）～（3）を繰り返す。

(4) 意見集約

- ・各委員の意見を集約し、専門部会全体の評価としてまとめてください。
- ・意見集約後、部会長より体系ごとに評価を述べてください。

環境評価対象事業一覧表(H29)

H29環境評価対象事業					第二次環境基本計画の該当施策		
項番	事務事業	担当部(H29)	担当課(H29)	環境評価担当課	大分類	中分類	小分類
1	危機管理体制の整備及び充実・強化	市長室	危機管理課	危機管理課	Ⅱ 地域環境	i 身近な生活環境を守ろう	8 防災
2	防災対策の意識啓発	市長室	危機管理課	危機管理課	Ⅱ 地域環境	i 身近な生活環境を守ろう	8 防災
3	厚木基地航空機騒音対策	財務部	企画財政課	企画財政課	Ⅱ 地域環境	i 身近な生活環境を守ろう	2 騒音・振動防止対策
4	市庁舎等の維持管理	財務部	施設管理課	施設管理課	I 地球環境	i 身近な生活環境を守ろう	4 廃棄物対策
5	公共施設等整備促進事業	財務部	施設管理課	施設管理課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
6	庁用車両管理事業	財務部	施設管理課	施設管理課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	2 自動車対策
7	えびな市民まつり	市民協働部	市民活動推進課	市民活動推進課	I 地球環境	i 身近な生活環境を守ろう	4 廃棄物対策
8	えびな市民活動センターの維持管理	市民協働部	市民活動推進課	市民活動推進課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
9	コミュニティセンター等のリニューアル	市民協働部	地域づくり課	地域づくり課	Ⅱ 地域環境	i 身近な生活環境を守ろう	2 騒音・振動防止対策
10	コミュニティセンター等施設維持管理運営事業	市民協働部	地域づくり課	地域づくり課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
11	文化会館維持管理事業	市民協働部	文化スポーツ課	文化スポーツ課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
12	スポーツ施設の維持補修	市民協働部	文化スポーツ課	文化スポーツ課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
13	保健相談センター維持管理事業	保健福祉部	健康づくり課	健康づくり課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
14	医療センター維持管理事業	保健福祉部	健康づくり課	健康づくり課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
15	公立保育園の維持管理	保健福祉部	子育て支援課	子育て支援課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
16	障がい者デイサービスセンター運営管理事業	保健福祉部	障がい福祉課	障がい福祉課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
17	障がい者デイサービスセンターの建設等	保健福祉部	障がい福祉課	障がい福祉課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
18	わかば会館維持管理事業	保健福祉部	障がい福祉課	障がい福祉課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
19	ケアセンター運営事業	保健福祉部	高齢介護課	高齢介護課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
20	生きがい会館運営事業	保健福祉部	高齢介護課	高齢介護課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
21	総合福祉会館維持管理事業	保健福祉部	高齢介護課	高齢介護課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
22	商店街共同施設維持管理費の支援	経済環境部	商工課	商工課	Ⅱ 地域環境	ii 海老名市の特性を活かそう	4 都市環境
23	企業立地の促進	経済環境部	商工課	商工課	Ⅱ 地域環境	ii 海老名市の特性を活かそう	4 都市環境
24	中小企業振興対策	経済環境部	商工課	商工課	Ⅱ 地域環境	ii 海老名市の特性を活かそう	4 都市環境
25	市民農園の推進	経済環境部	農政課	農政課	Ⅱ 地域環境	ii 海老名市の特性を活かそう	3 農業の振興
26	環境啓発活動の促進	経済環境部	環境みどり課	環境みどり課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
27	海老名市地球温暖化対策実行計画の推進	経済環境部	環境みどり課	環境みどり課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
28	省エネ・再生可能エネルギー活用の促進	経済環境部	環境みどり課	環境みどり課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
29	大気汚染・騒音対策、排水対策	経済環境部	環境みどり課	環境みどり課	Ⅱ 地域環境	i 身近な生活環境を守ろう	2 騒音・振動防止対策
30	緑の保全・創造・啓発	経済環境部	環境みどり課	環境みどり課	Ⅱ 地域環境	ii 海老名市の特性を活かそう	2 丘陵地・緑地の保全
31	一般廃棄物の計画的な処理の実施	経済環境部	資源対策課	資源対策課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	4 廃棄物対策
32	まちの美化の推進	経済環境部	資源対策課	資源対策課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	4 廃棄物対策
33	ごみ処理広域化実施計画の推進	経済環境部	資源対策課	資源対策課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	4 廃棄物対策
34	高座清掃施設組合運営への参画と支援	経済環境部	資源対策課	資源対策課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	4 廃棄物対策
35	ごみ等収集体制の充実	経済環境部	資源対策課	資源対策課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	4 廃棄物対策
36	し尿収集体制の充実	経済環境部	資源対策課	資源対策課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	4 廃棄物対策

37	生ごみ処理対策の推進	経済環境部	資源対策課	資源対策課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	4 廃棄物対策
38	有機性廃棄物の資源化	経済環境部	資源対策課	資源対策課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	4 廃棄物対策
39	分別回収の充実	経済環境部	資源対策課	資源対策課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	4 廃棄物対策
40	資源化センターの運営	経済環境部	資源対策課	資源対策課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	4 廃棄物対策
41	リサイクルプラザの運営	経済環境部	資源対策課	資源対策課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	4 廃棄物対策
42	資源化センター大規模改修事業	経済環境部	資源対策課	資源対策課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	4 廃棄物対策
43	仮称再生工房(現リサイクルプラザ)建設事業	経済環境部	資源対策課	資源対策課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	4 廃棄物対策
44	道路の修繕	建設部	道路維持課	道路維持課	II 地域環境	i 身近な生活環境を守ろう	7 道路環境整備
45	幹線・準幹線道路の整備	建設部	道路整備課	道路整備課	II 地域環境	i 身近な生活環境を守ろう	7 道路環境整備
46	さがみ縦貫道路関連道路の整備	建設部	道路整備課	道路整備課	II 地域環境	i 身近な生活環境を守ろう	7 道路環境整備
47	海老名駅周辺道路整備の推進	建設部	道路整備課	道路整備課	II 地域環境	i 身近な生活環境を守ろう	7 道路環境整備
48	一般生活道路の整備	建設部	道路整備課	道路整備課	II 地域環境	i 身近な生活環境を守ろう	7 道路環境整備
49	合併処理浄化槽整備の助成	建設部	下水道課	下水道課	II 地域環境	i 身近な生活環境を守ろう	3 水循環型社会の構築
50	地下浸透による地下水涵養の促進	建設部	下水道課	下水道課	II 地域環境	i 身近な生活環境を守ろう	3 水循環型社会の構築
51	公共下水道の整備(汚水)	建設部	下水道課	下水道課	II 地域環境	i 身近な生活環境を守ろう	1 河川等の水質保全
52	公共下水道の整備(雨水)	建設部	下水道課	下水道課	II 地域環境	i 身近な生活環境を守ろう	1 河川等の水質保全
53	事業場排水水質調査	建設部	下水道課	下水道課	II 地域環境	i 身近な生活環境を守ろう	1 河川等の水質保全
54	雨天時等不明水対策の推進	建設部	下水道課	下水道課	II 地域環境	i 身近な生活環境を守ろう	1 河川等の水質保全
55	水洗化の普及促進	建設部	下水道課	下水道課	II 地域環境	i 身近な生活環境を守ろう	1 河川等の水質保全
56	都市計画制度等の活用によるまちづくりの推進	まちづくり部	都市計画課	都市計画課	II 地域環境	ii 海老名市の特性を活かそう	1 美しい都市景観の形成
57	コミュニティバスの運行	まちづくり部	都市計画課	都市計画課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	2 自動車対策
58	公共交通対策の推進	まちづくり部	都市計画課	都市計画課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	2 自動車対策
59	都市公園等の整備	まちづくり部	住宅公園課	住宅公園課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	3 緑化推進
60	市街地の再開発	まちづくり部	市街地整備課	市街地整備課	II 地域環境	ii 海老名市の特性を活かそう	4 都市環境
61	工業系新市街地の整備促進	まちづくり部	市街地整備課	市街地整備課	II 地域環境	ii 海老名市の特性を活かそう	4 都市環境
62	自転車駐車場等の整備	まちづくり部	駅周辺対策課	駅周辺対策課	II 地域環境	ii 海老名市の特性を活かそう	4 都市環境
63	消防庁舎管理事務	消防本部	消防総務課	消防総務課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
64	消防施設の改修	消防本部	消防総務課	消防総務課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
65	消防団器具置場の建替え	消防本部	消防総務課	消防総務課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
66	小中学校の維持管理	教育部	教育総務課	教育総務課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
67	相模国分寺跡の整備活用	教育部	教育総務課	教育総務課	II 地域環境	ii 海老名市の特性を活かそう	5 歴史的遺産等の保護と活用
68	相模国分尼寺跡の整備活用	教育部	教育総務課	教育総務課	II 地域環境	ii 海老名市の特性を活かそう	5 歴史的遺産等の保護と活用
69	文化財の保護	教育部	教育総務課	教育総務課	II 地域環境	ii 海老名市の特性を活かそう	5 歴史的遺産等の保護と活用
70	郷土資料館(温故館)の運営	教育部	教育総務課	教育総務課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
71	歴史資料収蔵館の運営	教育部	教育総務課	教育総務課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
72	海老名市食の創造館の維持管理	教育部	就学支援課	就学支援課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 エネルギー対策
73	学校環境活動の推進	教育部	教育支援課	教育支援課	I 地球環境	i 地球温暖化の防止	5 その他

環境管理計画・環境評価調査 1

様式第1号

事務事業名	省エネ・再生可能エネルギー活用促進			事業コード	
担当部	経済環境部	担当課	環境みどり課	担当係	環境政策係
計画体系	I 地球環境				
	i 地球温暖化の防止				
	1 エネルギー対策				
目的目標	地球にやさしい社会の実現に向けて、市民のライフスタイルや環境に配慮する意識と省エネ効果を高めるため、環境に配慮した設備等の設置に対して、経費の一部を補助します。				
目標指標			目標値	実績値	
補助申請数			150件		
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
有益影響	・市民及び事業者における省エネの推進 ・市民及び事業者由来の温室効果ガス排出量削減	・市民及び事業者における省エネの推進 ・市民及び事業者由来の温室効果ガス排出量削減	・市民及び事業者における省エネの推進 ・市民及び事業者由来の温室効果ガス排出量削減	・市民及び事業者における省エネの推進 ・市民及び事業者由来の温室効果ガス排出量削減	・市民及び事業者における省エネの推進 ・市民及び事業者由来の温室効果ガス排出量削減
有害影響	-	-	-	-	-
	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度
有益影響	・市民及び事業者における省エネの推進 ・市民及び事業者由来の温室効果ガス排出量削減	・市民及び事業者における省エネの推進 ・市民及び事業者由来の温室効果ガス排出量削減	・市民及び事業者における省エネの推進 ・市民及び事業者由来の温室効果ガス排出量削減	・市民及び事業者における省エネの推進 ・市民及び事業者由来の温室効果ガス排出量削減	・市民及び事業者における省エネの推進 ・市民及び事業者由来の温室効果ガス排出量削減
有害影響	-	-	-	-	-
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
想定されるコミュニケーション	補助対象設備に関する意見・要望	補助対象設備に関する意見・要望	補助対象設備に関する意見・要望	補助対象設備に関する意見・要望	補助対象設備に関する意見・要望
対応	・環境配慮施設の市場動向把握 ・補助対象施設の見直し	・環境配慮施設の市場動向把握 ・補助対象施設の見直し	・環境配慮施設の市場動向把握 ・補助対象施設の見直し	・環境配慮施設の市場動向把握 ・補助対象施設の見直し	・環境配慮施設の市場動向把握 ・補助対象施設の見直し
	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度
想定されるコミュニケーション	補助対象設備に関する意見・要望	補助対象設備に関する意見・要望	補助対象設備に関する意見・要望	補助対象設備に関する意見・要望	補助対象設備に関する意見・要望
対応	・環境配慮施設の市場動向把握 ・補助対象施設の見直し	・環境配慮施設の市場動向把握 ・補助対象施設の見直し	・環境配慮施設の市場動向把握 ・補助対象施設の見直し	・環境配慮施設の市場動向把握 ・補助対象施設の見直し	・環境配慮施設の市場動向把握 ・補助対象施設の見直し

環境管理計画・環境評価調書 2

事務事業名				事業コード	
担当部		担当課		担当係	
具体的活動（実績）	平成29年度			平成30年度	

平成29年度の変更点及び実施における課題・問題点

--	--	--	--

総合評価	評価区分	評価	判断理由及び内容
	担当部課 環境評価		
	内部環境評価		
	外部環境評価		

様式第〇〇号		外部環境評価シート	
環境基本計画の体系			
I 地球環境	i 地球温暖化の防止	1 【エネルギー対策】省エネルギー推進、自然エネルギー導入	
評価			
判断理由及び評価内容			
環境基本計画の体系			
I 地球環境	i 地球温暖化の防止	2 【自動車対策】温室効果ガス削減と大気汚染防止への取組み	
評価			
判断理由及び評価内容			
環境基本計画の体系			
I 地球環境	i 地球温暖化の防止	3 【緑化推進】「緑の基本計画」等により推進	
評価			
判断理由及び評価内容			